左京区の健康課題と事業取組について

令和６年度左京区地域保健推進協議会資料

資料２

左京区の概況

- 京都市の東北部に位置し、南北に長い約247㎢に及ぶ区域には、北部の山間地域から南部の市街地まで多くの個性豊かな地域があり、令和６年７月時点で8万８千世帯、16万４千人の区民が暮らしている。
- 区内には、京都市美術館、ロームシアター京都、みやこめっせ、京都コンサートホールなどの文化施設や、世界遺産の下鴨神社、銀閣寺をはじめとする有名な寺社仏閣、史跡等も数多くある。
- 区内には6大学があり、全市の中でも20歳から24歳の人口割合が多いことから（令和５年10月推計）、「大学のまち左京」と言われる。特に南部は学生が多い。
- 外国人住民基本台帳人口は9196人（令和６年7月1日現在）で、全市のなかで2番目に多く、様々な国の出身者が居住している。（京都市統計ポータル）

健康長寿推進課の業務

がん検診・健康づくり・感染症・ひきこもり支援

がん検診関連

【区役所実施のがん検診】

- 肺がん検診（対象者４０歳以上）　受診機会：１年に１回

  通年実施　第1・2水曜日の午前、第3水曜日の午後

- 大腸がん検診（対象者４０歳以上）　受診機会：１年に１回

  通年実施　水・金曜の９時～１１時受付

- 巡回乳がん検診（対象年齢４０歳以上）　受診機会：２年に１回

  ○６～７月頃　計９回実施

- 巡回胃がん検診（対象年齢５０歳以上）　受診機会：２年に１回

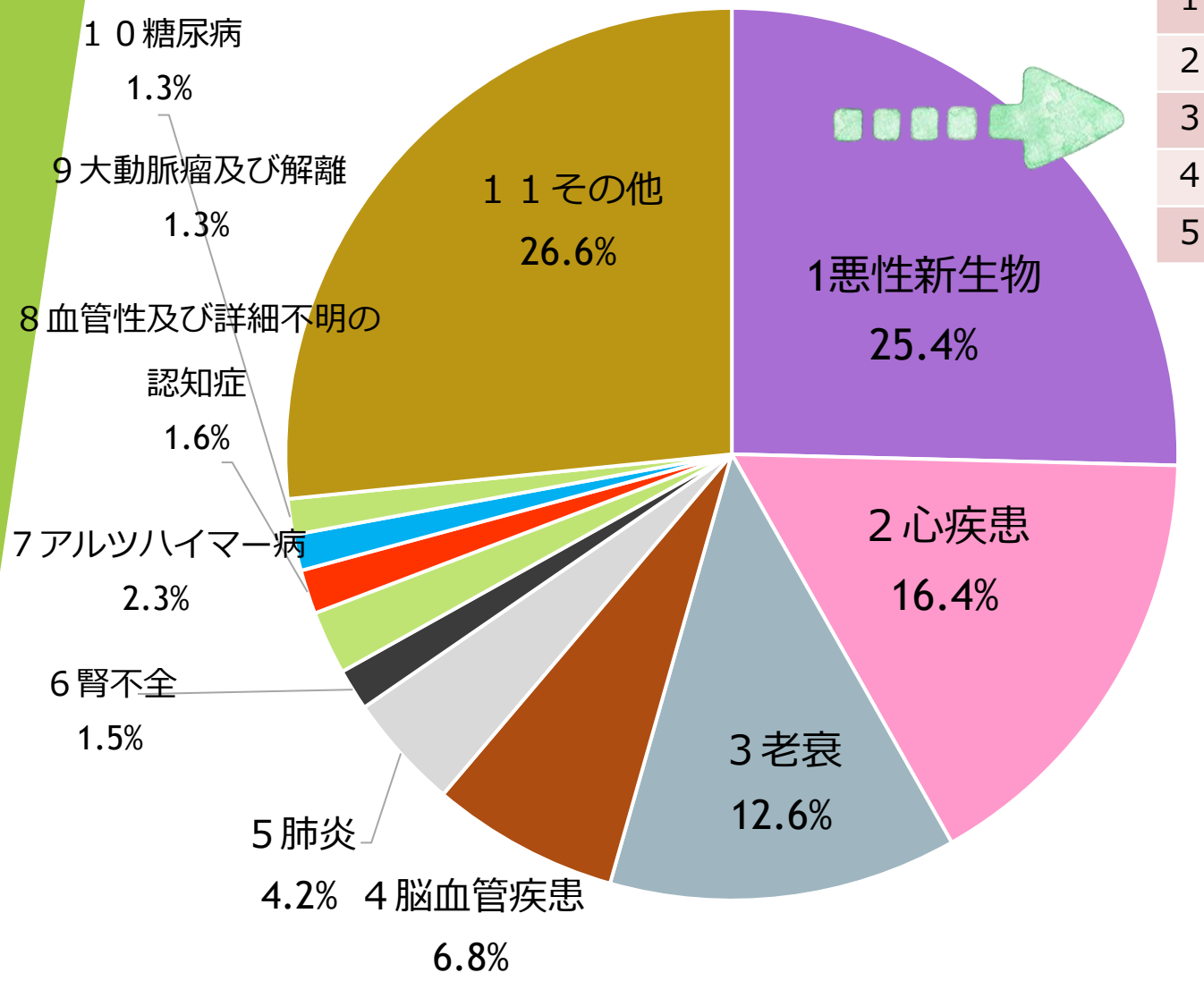
  ○１１月頃　計３回＋鞍馬自治会館・明徳小・岩倉南小・岩倉北小で実施

【指定医療機関でのがん検診】

- 通年実施　胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん・前立腺がん検診

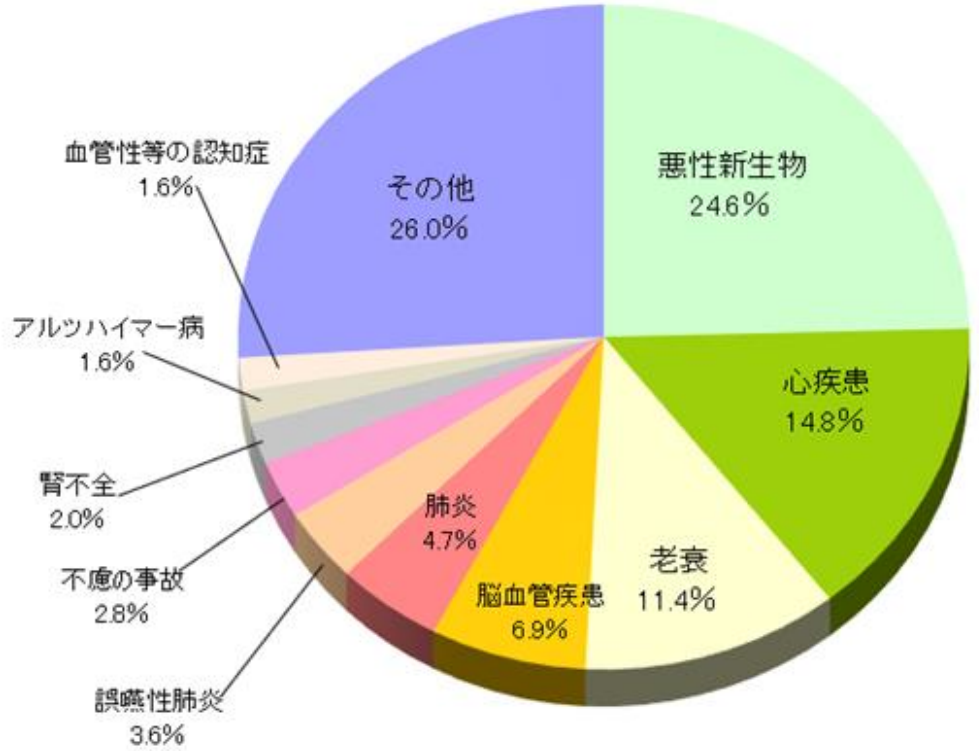
令和４年　左京区主要死因

京都市衛生統計令和５年度より

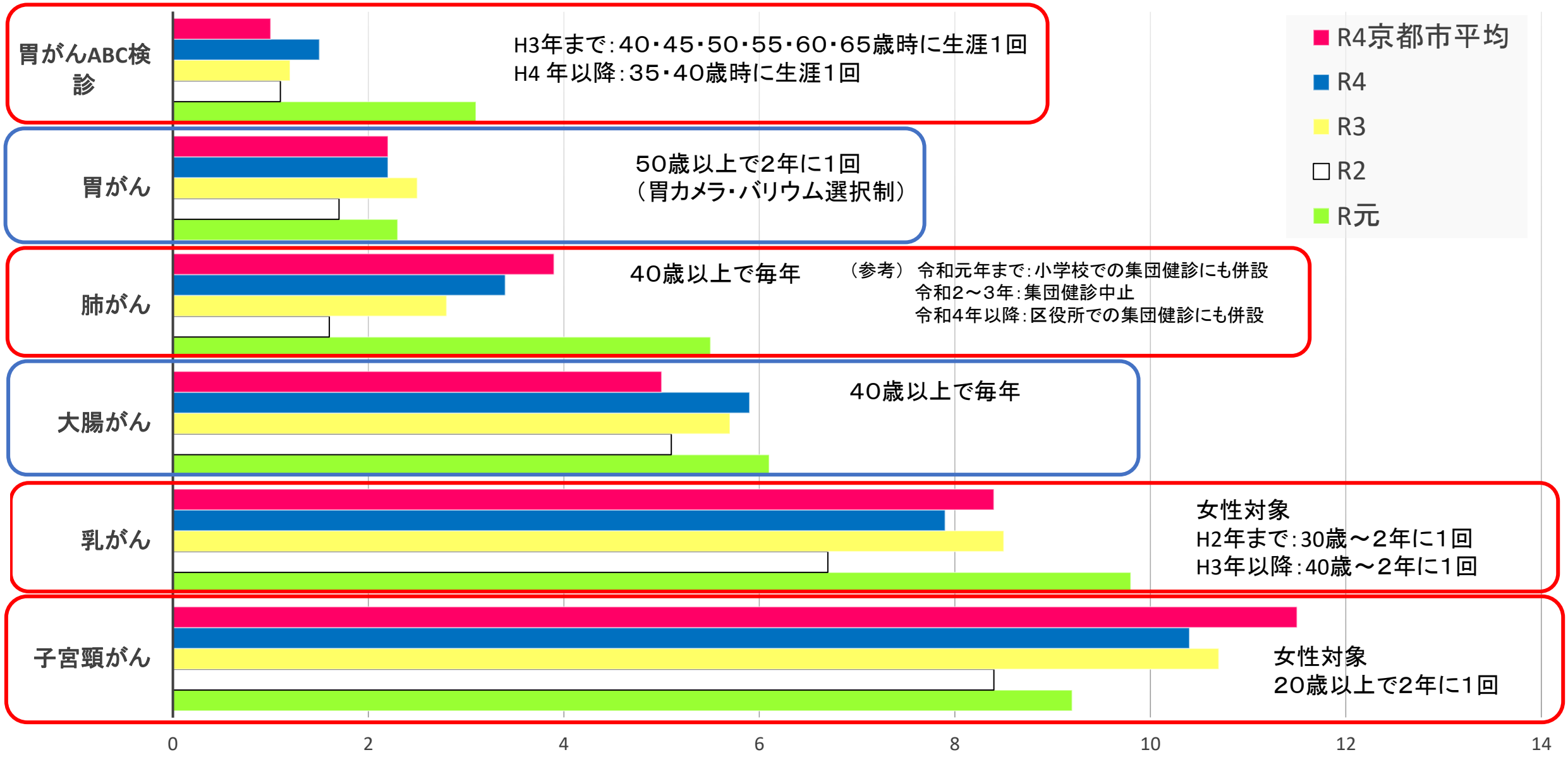


悪性新生物の死因順位（４６２人）			
1	気管、気管支及び肺　８９人	6	その他悪性新生物　３８人
2	膵　４９人	7	胆のう及び他の胆道　２２人
3	結腸　４６人	8	乳房　１９人
4	胃　４１人	9	直腸Ｓ状結腸　１６人
5	肝及び肝内胆管　４０人	10	子宮　１４人

令和４年厚生労働省「人口動態統計（推定数）



左京区　がん検診受診率の推移（令和元年～令和4年度　4年間）



左京区における健康課題（がん検診関連）

- 令和元年度から令和４年度の４年間における左京区の各種がん検診の受診率の推移から、以下の傾向がある。

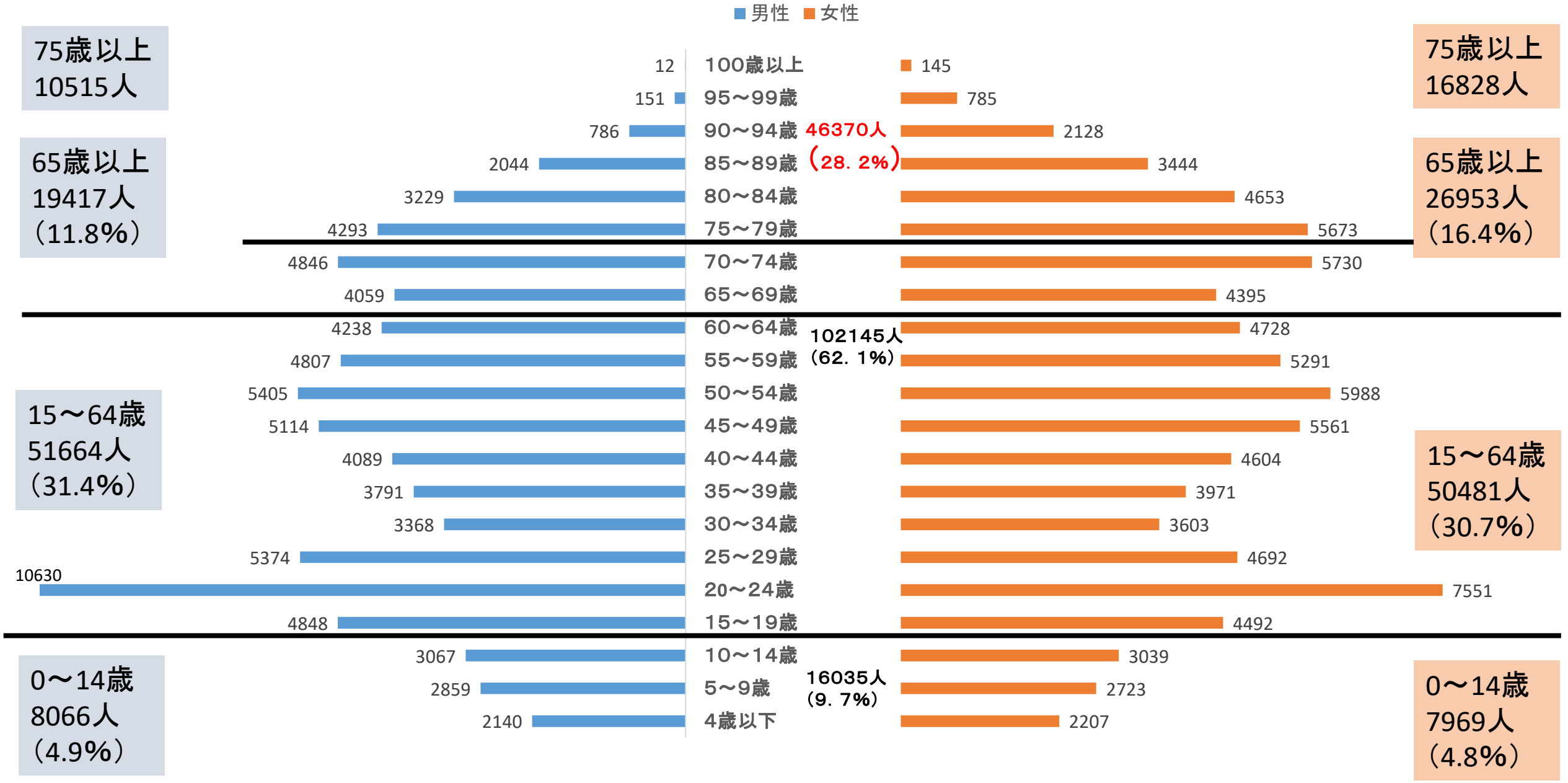
１　京都市平均と比べると「肺がん検診」「乳がん検診」「子宮頸がん検診」の３項目において、左京区の受診率が下回っている。

２　コロナ発生前の受診率と比べると、「胃がんＡＢＣ検診」「肺がん検診」「乳がん検診」の受診率が、回復していない。

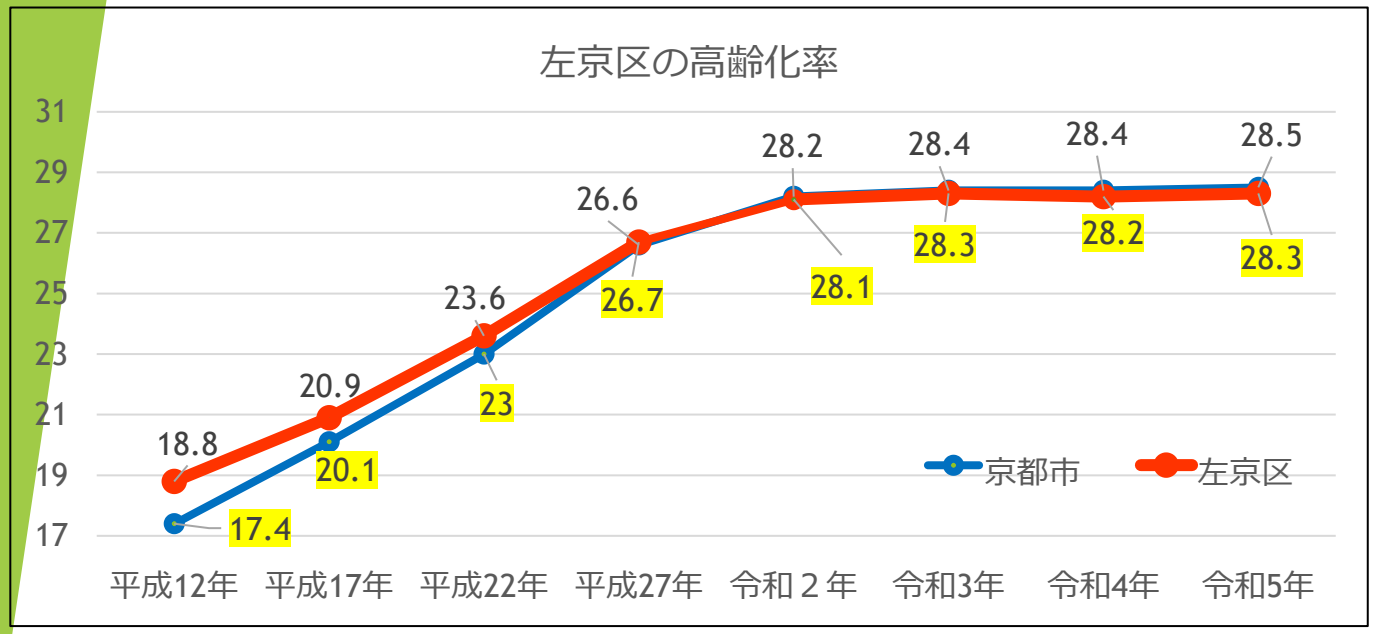
京都市平均を下回っている項目、受診率が伸び悩んでいる項目中心にすべてのがん検診受診率を上げていく取組が必要である。

左京区の男女別年齢区分　人口ピラミッド

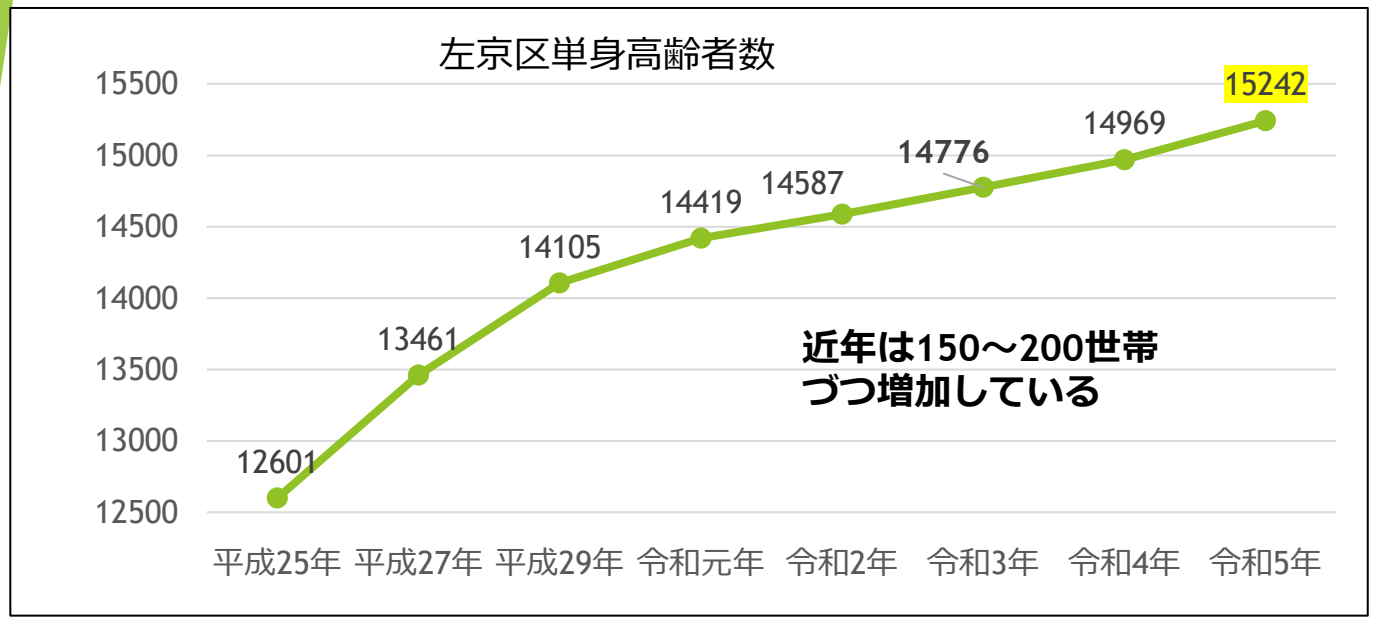
令和5年10月1日現在



左京区の高齢化率　京都市の高齢者人口ー令和５年「敬老の日」にちなんでー



左京区は１１行政区中、７位の高齢化率
左京区人口は、Ｈ２６年頃より減少に転じているが、
高齢者人口は増加し続けている。
（参考）
　高齢化率　一位：山科区　３２．０％
　高齢化率最下位：下京区　２２．２％

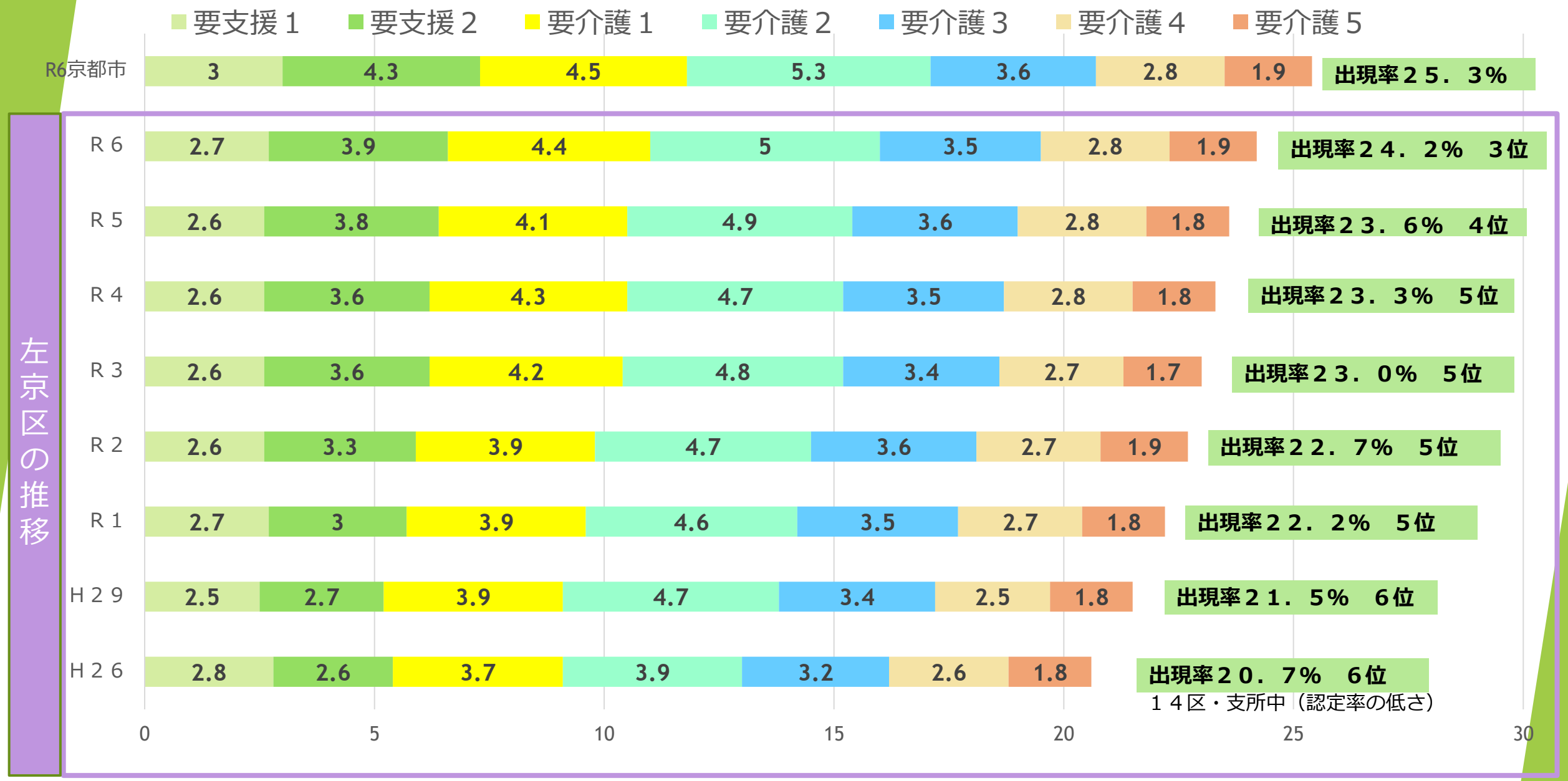


京都市の高齢化を取り巻く状況

２０２５年には、高齢者人口が４２万人、高齢化率が２９％となる見込み。また、要支援・要介護認定者数が１０万人を超える見込み。
また、市民の５人に1人は後期高齢者となる見込み。

２０４０年には、１．６人の現役世代で１人の高齢者を支える社会となる見込み。

左京区要介護認定率の推移（平成２６年度～令和６年度）

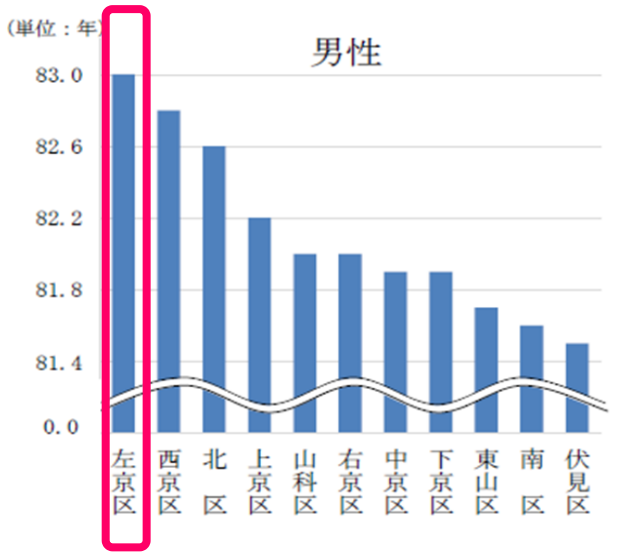


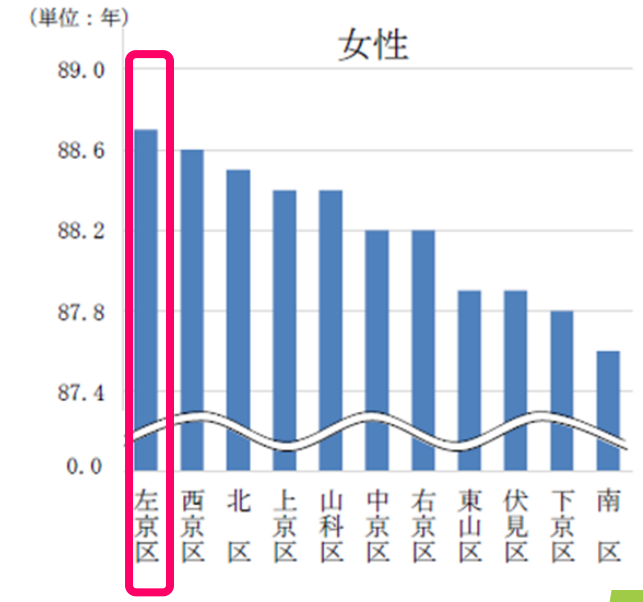
平均寿命と健康寿命の比較（全国・府・京都市、そして左京区）

		平均寿命（令和２年）	健康寿命（令和元年）	平均寿命との差
全　国	男性	81.5歳	72.68歳	8.82年
	女性	87.6歳	75.38歳	12.22年
京都府	男性	82.2歳	72.71歳 （21位/４７都道府県）	9.49年
	女性	88.3歳	73.68歳 （47位/４７都道府県）	14.63年
京都市	男性	82.1歳 ９位／２０政令指定・東京都	73.01歳	9.09年
	女性	88.2歳 ５位／２０政令指定・東京都	72.90歳	15.3年
左京区	男性	**83.0歳** （46位/1887市町村）		9.99年
	女性	**88.7歳** （18位/1887市町村）		15.8年

●平均寿命：令和２年市区町村別平均寿命資料参照　●健康寿命：２０１９厚生労働科学研究　健康寿命のページより

行政区別の平均寿命（令和２年）
京都市における平均寿命
－「令和2年生命表」から－





健康づくり事業の課題

- 1　高齢化率や要介護認定率が上昇の一途、単身高齢者の増加、また左京区は平均寿命が男女ともに全国上位で、健康寿命との格差が大きい可能性がある

  ➡ 一人一人が健康寿命の延伸に取り組める環境づくりが最優先

- 2　健康に関心のある層と、関心が薄い層との格差がある

  ➡ 関心の薄い層にも健康意識を持ってもらう取組の重要性

- 3　働き世代や子育て世代へのアプローチの難しさ

  ➡ 休日に企画する、人の多いところに出向くなどに加えて、他課・他機関連携での取組等と連動し、方法を検討

- 4　「大学のまち左京」で、大学生の居住率が他区に比べて高い。
  学生は生活習慣の乱れなどからくる健康課題がある。

  ➡ 大学生への啓発で、若い時から健康意識の醸成を図る取組の必要性

令和６年度
健康長寿推進課で取り組む
健康づくり事業

令和6年度　左京・健康なまちづくりプロジェクトをはじめとする健康づくり事業
Sa!Kyo! さぁ!今日から健康づくり ～アクションプラン～

全世代対象

- さきょうらいふ the わんだーらんど
- 左京区民ふれあいまつり
- 歯のひろば
- 出前教室

40歳～

- さくらちゃん体操ひろば
- お口とからだのフレイル予防教室
- 左京健康講座　2024
- 65歳からの栄養改善教室

20歳～

- 受けよう！がん検診
  ～あんしん&早期発見～

18歳～

- 短時間禁煙支援
- 食育セミナー
  （食事バランス、野菜摂取、減塩）

- 大学生対象の健康づくり

全世代対象

- さきょう らいふ the わんだーらんど
- 左京区民ふれあいまつり
- 歯のひろば
- 出前教室

【依頼を受けて実施】

９月１日　健康増進イベント

台風で中止

１１月４日　左京区民ふれあいまつりでの啓発
●肺がん・結核検診　●大腸がん検診キット配布
●歯科医による歯科相談　●血管年齢測定

１１月１７日　歯のひろばでの啓発

Sa！Kyo！

さぁ！今日から
40歳～

- さくらちゃん体操ひろば
- お口とからだの
  フレイル予防教室
- 左京健康講座　２０２４
- ６５歳からの栄養改善教室

【通年実施】
毎週水曜日
１４時～３０分

令和６年度は
体操ひろば
１０周年！

【１０月実施】

左京健康講座2024

骨粗しょう症を予防して、コツコツ健康寿命を延ばそう

骨密度測定と講演の
2回シリーズです

今年の左京健康講座は、骨折のリスクである「骨粗しょう症」をテーマにして開催します。
骨密度測定でご自身の状態を知り、骨粗しょう症の予防について学びましょう。

参加無料

日時とプログラム（両日とも参加できる方）

【第１回】 令和6年10月３日（木）
①10時から11時30分　②13時30分から15時
③15時から16時30分　※①～③組のいずれか。
※お時間の指定はできません。当選のお知らせと共にお伝えします。
●ミニ講話（管理栄養士・歯科衛生士・保健師）
●測定会（骨密度・ベジチェック・血管年齢など）

【第２回】 令和6年10月８日（火）
13時30分～15時15分
●医師による講演

申込方法は
裏面を
ご覧ください

講師：劉　和輝 先生
京都府医師会 健康日本21
対策委員会副委員長/京都
府立医科大学臨床教授

主催：一般社団法人左京医師会、左京区役所 / 協力団体：明治安田生命
後援：京都市左京区在宅医療・介護連携支援センター

会場：左京区役所

【年３回実施】
８、１１、３月

コロナに負けるな!!
お口の健康増進体操！

京都市左京歯科医師会
京都市左京区地域介護予防推進センター

協賛：京都左京老人福祉センター
　　左京区役所健康長寿推進課

【１０月に２回実施】

食育セミナー

65才からの栄養改善教室

お家でも、ひとり分でも、
気軽に作って、
おいしく食べられる料理を
紹介します！

20歳～

● 受けよう！がん検診
～あんしん&早期発見～

がん検診受診率を上げるための取組み

肺がん	肺がん検診 周知ちらし・ポスターの送付	京都市特定・後期高齢者健診の区内指定医療機関89か所に、肺がん検診の案内ちらしとポスターをＲ６年4月に送付。
	ポスター掲示	受診勧奨ポスターを区役所内に掲示
	看板の設置	区役所に看板を常設し、来庁者を受診予約までつなげる
乳がん 子宮頸がん	受診勧奨 ちらしの配付	乳幼児健診時に保護者へ配付 （約1,000部／年 配付予定）
共通	左京ボイスでの がん検診案内	左京ボイス掲載で一定の受診予約等の反応があるため、定期的にがん検診の案内を行う

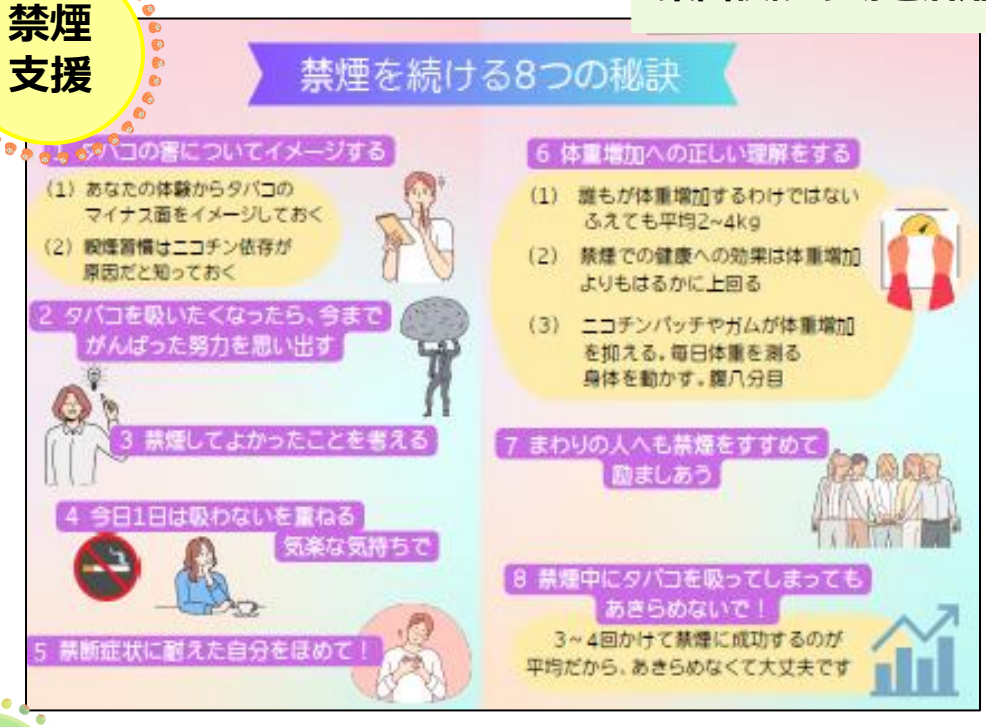
左京区独自のがん検診ちらし・ポスターを作成

18歳～

- 短時間禁煙支援
- 食育セミナー（食事バランス、野菜摂取、減塩）

禁煙支援

集団検診の場を活用して禁煙支援を実施

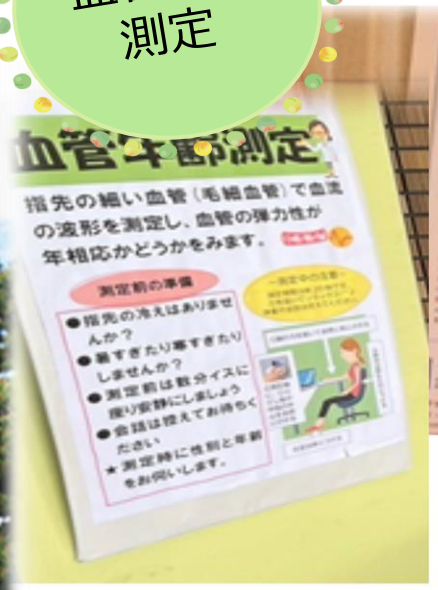


食育

テーマ	開催日	内容	
防災クッキング	5月17日	・調理実習「簡単!美味しい!ポリ袋クッキング」	左京区健康づくりサポーターのスキルアップとして開催
そうだ、野菜とろう！	6月12日	・調理実習「初夏を味わう野菜クッキング」	左京区民21名
減塩クッキング	9月	・調理実習「秋の旬の食材を使用した減塩クッキング」	左京区民20名程度
骨と歯の教室	2月	・調理実習「Caたっぷりバランス献立」	左京区民20名程度

令和６年１１月１７日
京都工芸繊維大学　松ヶ崎祭
＜健康ブース内容＞

血管年齢
測定



がん対策

アルコール
パッチテスト

性感染症
予防

大学生への
食育

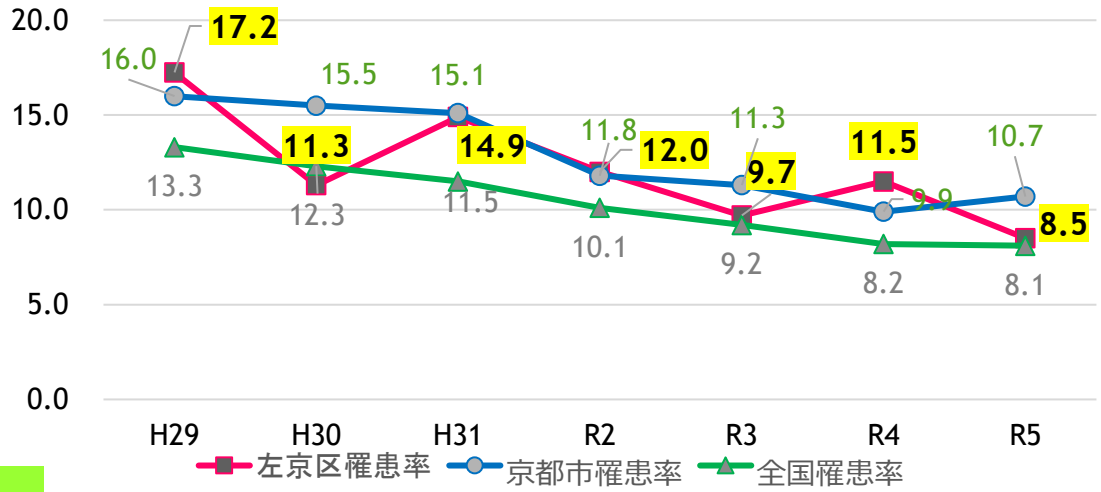
歯科健診
普及啓発

区で対応している感染症の健康課題

○令和5年　結核

患者：14名、潜在性結核感染症7名発生
罹患率が8．5、塗抹陽性罹患率2.4と全国より高いが京都市全体より低い罹患率となった。
＊（参考）令和5年の日本の結核罹患率は「低まん延国（罹患率10以下）」を維持。

結核罹患率の推移

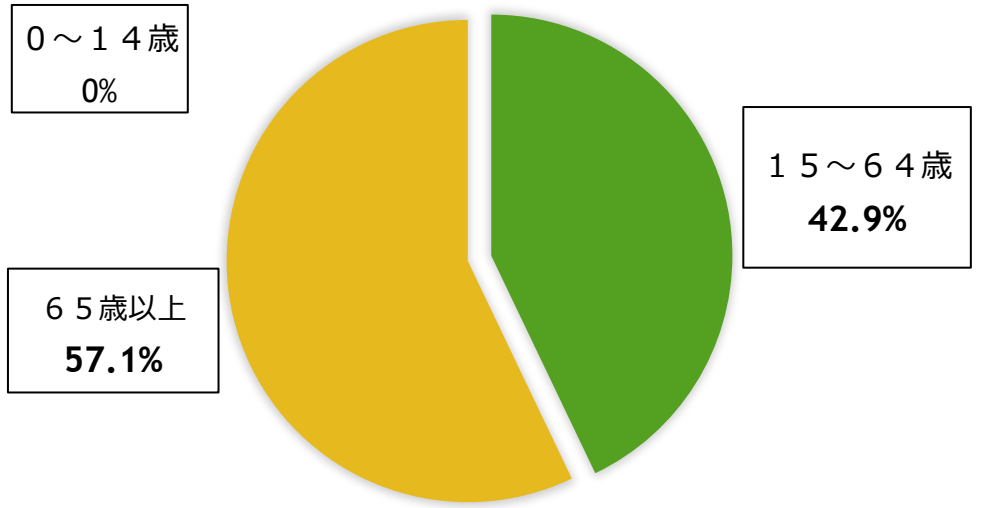


★令和5年　結核患者接触者健診状況

接触者健診者（延）	145人
内）高齢者施設・介護サービス関係	41人
施設・事業所数	7か所

※他区依頼　施設2か所　6人

結核発生届年齢別罹患率



課題

高齢者は、結核菌に感染している率が高く発病リスクがあるが、症状が現れないことも多いため、発見の遅れにつながりやすい。排菌する前に発見することで、本人の治療への負担や周囲へのまん延防止につながる。
そのため胸部検診の定着や、高齢者施設などへの普及啓発が大切である。

区で対応している感染症の健康課題

○令和5年　感染症集団発生対応

・感染性胃腸炎：5施設（保育園）
・その他感染症：2施設（保育園・高齢者施設）
→まん延防止の指導実施

○梅毒等性感染症

・梅毒は全国・京都市ともに増加している
→ポスター・チラシ等による啓発

○思春期保健

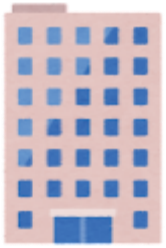
・思春期のこころとからだの健康づくり
→子どもはぐくみ室と協力し、中学校における思春期健康教室のなかで、性感染症について講話を実施
令和5年　3か所

課題

梅毒やクラミジアなどの性感染症は、近年若い世代を中心に増加傾向にあり、今後も感染拡大が懸念されている。
人との出会いが多様化する中、性風俗産業など一部の人の話ではなくなっている。感染リスクが身近になっているため適切な予防や治療を含めた性教育が必要となる。

本市におけるひきこもり支援
～京都市ひきこもり地域支援センター～

「よりそい・つなぐ」
相談窓口



・ひきこもりに関する
　一般相談
・全年齢対応
・委託実施

⇔

保健福祉センター

各部署の特色を生かした
相談と支援

（
健康長寿推進課
生活福祉課
障害保健福祉課
子どもはぐくみ室
）

（京都市ひきこもり支援リーフレット）

京都市ひきこもり地域支援センター

ご本人

ご家族

関係機関

地域

電話かメールで相談

ご本人やご家族以外のご本人に関わる方々もご相談ください

「よりそい・つなぐ」相談窓口
（京都市ひきこもり相談窓口）

お電話や面談等で
思いをうけとめ
一緒に考えます

状況に応じ、各支援機関に引継ぎ

区役所・支所
保健福祉センター

支援調整会議
ご本人やご家族の目標に向かって、
何から始めるのが良いのか、
誰がサポートするのかを話し合います

支援のネットワーク

区役所・支所の
各担当部署

制度・サービス

よりそい支援員

支援機関等

地域

NPO

居場所

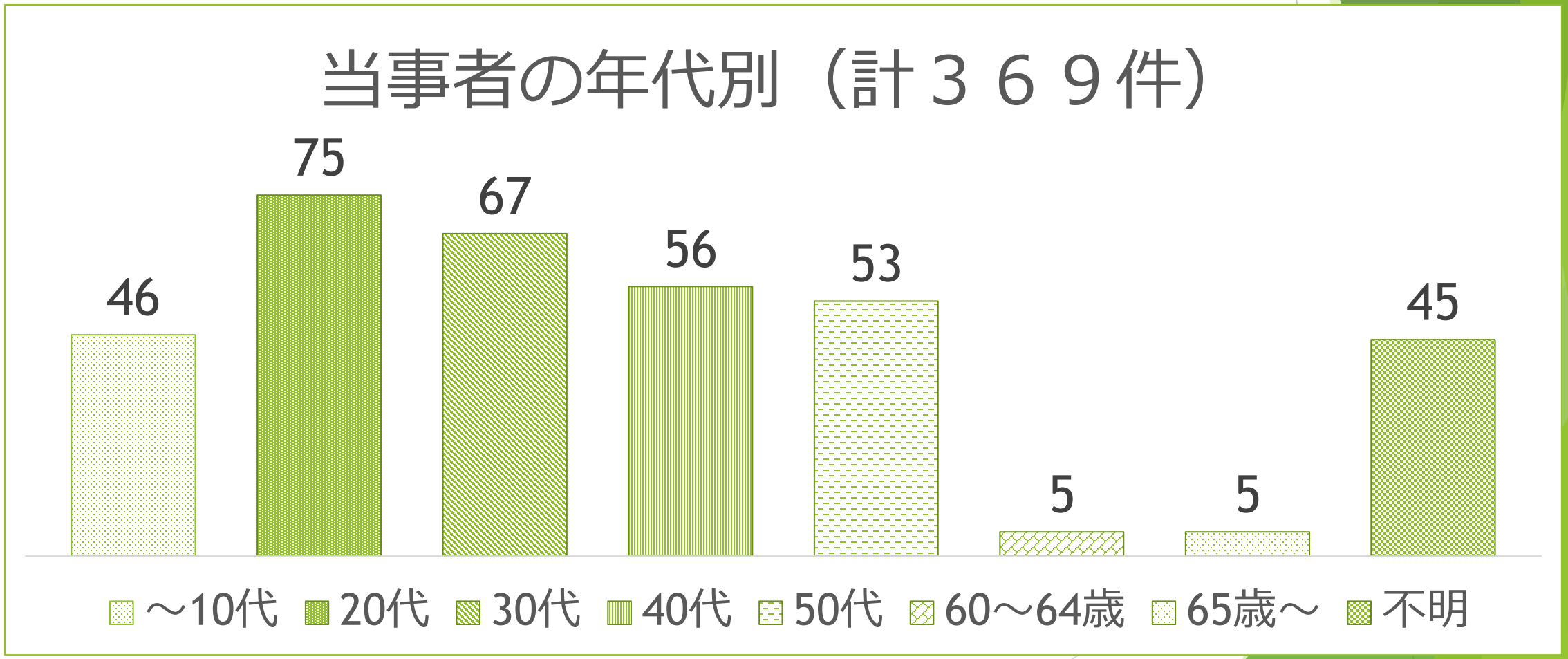
関係機関が連携し
一人ひとりのペースに
合わせて支援します

今のままでいいのかなぁ…
どうしたらいいかわからない
これからのことが心配

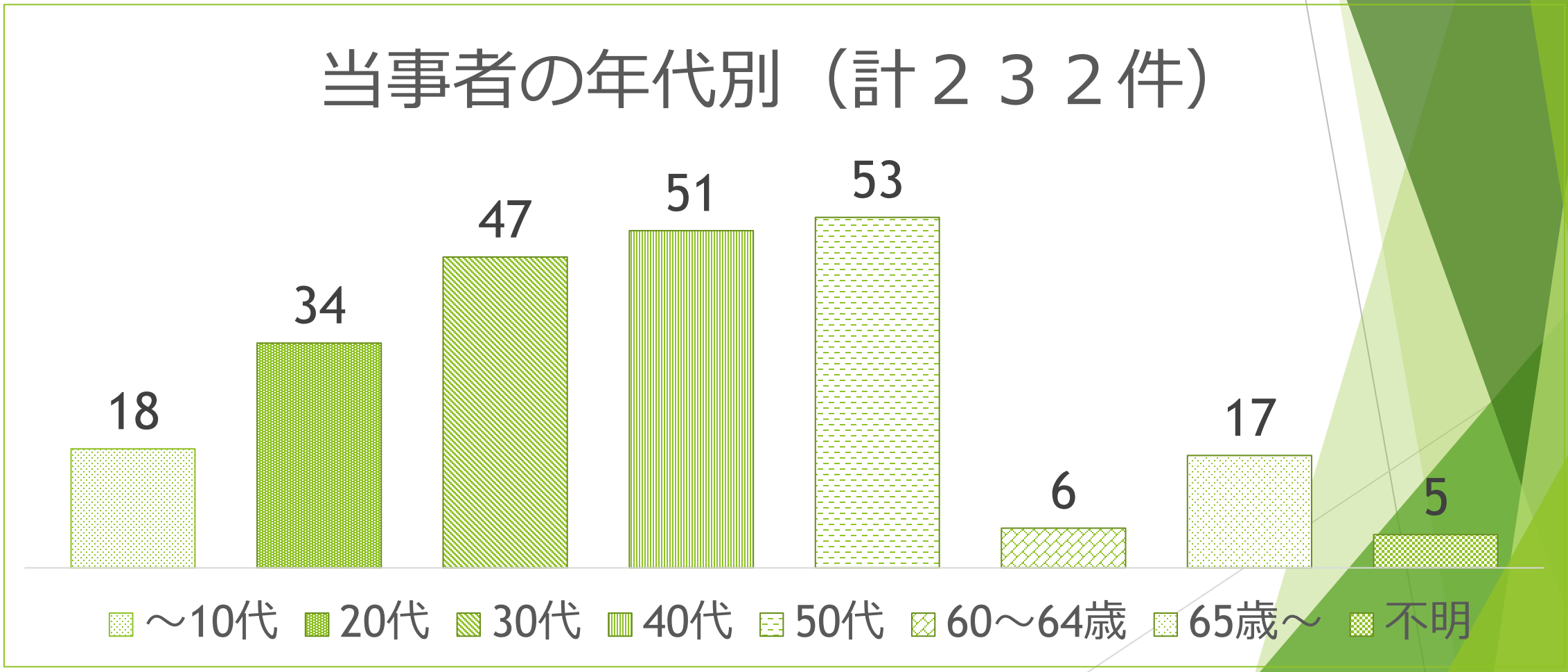
どんなことができるか？
何からはじめてみるのがよいか？
どんなサポートが必要か？

一緒に考える
一緒に行動する
できることから試してみる

「よりそい・つなぐ」相談窓口
令和5年度 相談件数



各区役所・支所保健福祉センター
令和5年度 ひきこもり相談件数



左京区における相談・支援の状況

令和２年８月～令和６年９月までの実績

	相談件数	相談件数のうち 支援調整会議に諮ったケース	支援調整会議に諮ったケースのうち 支援対象としたケース（終結ケース）
ひきこもり相談窓口からの引継ぎ	４件	４件	３件 （１件）
保健福祉センター各課・室からの相談	１７件	３件	２件 （２件）
関係機関からの相談	１４件	３件	３件 （２件）
市民からの相談	３９件	１件	１件 （０件）

※京都市ひきこもり相談窓口における左京区の相談件数
　令和２年度　２４件　令和３年度　２９件　令和４年度　３６件　令和5年度　４７件

ひきこもり支援の課題

- 要因や背景が多様で個別性が高い。

  →個々の事例に丁寧に対応していく中で良い方策を見出していく。
  　支援機関同士で課題やノウハウを共有する。

- 本人にすぐにはつながらない、家族支援が長く続くことが多い。

  →家族も「支援の受け手」として支えてることが重要。
  　家族が孤立化しないよう、家族会等の社会資源の開拓や充実を図る。

- 課題が長期化し、複雑化・複合化している場合が多い。

  →支援機関の連携や地域のネットワークにより課題解消を目指す。

- 相談しやすい環境づくりをめざす。

  →相談窓口の周知やひきこもりの理解の促進を行っていく。

障害保健福祉課の業務

精神保健福祉・難病支援

精神保健福祉

- 精神障害者保健福祉手帳の交付
- 自立支援医療（精神通院）の申請受付
- 精神保健福祉相談

  第1~4週の月曜日13:30~15:30　精神科医と精神保健福祉相談員による面接

- 地域生活安定化支援事業

  精神障害のある方の社会復帰、自立を進めるため、月１回程度デイケアを実施。

- 家族懇談会
- こころのふれあいネットワーク事業

難病患者支援

- 特定医療費助成

  指定難病（341疾病）で一定の認定基準を満たしている方に対して、その治療に掛かる医療費の一部助成を行う。

- 難病対策事業

  在宅療養支援計画策定・重症難病一時入院事業・生活機器貸出事業等

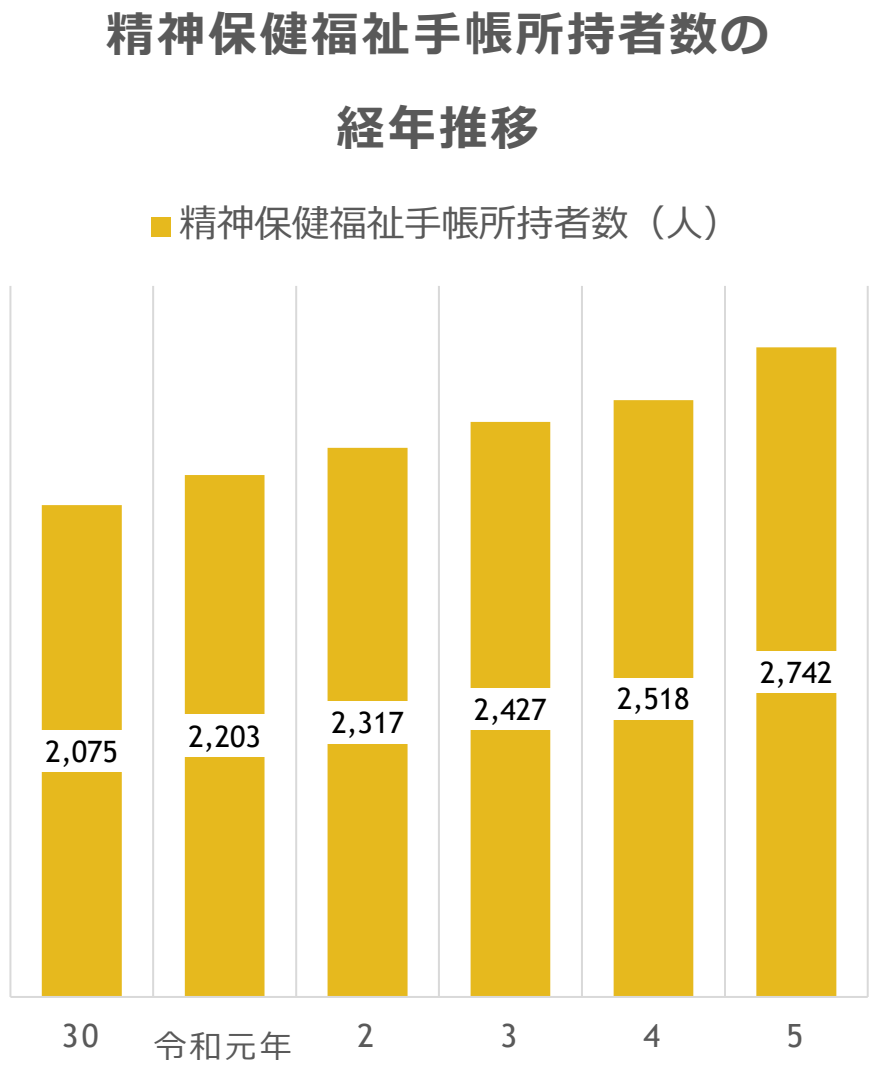
障害者総合支援法における精神障害者・難病患者に対する福祉サービスの支給決定

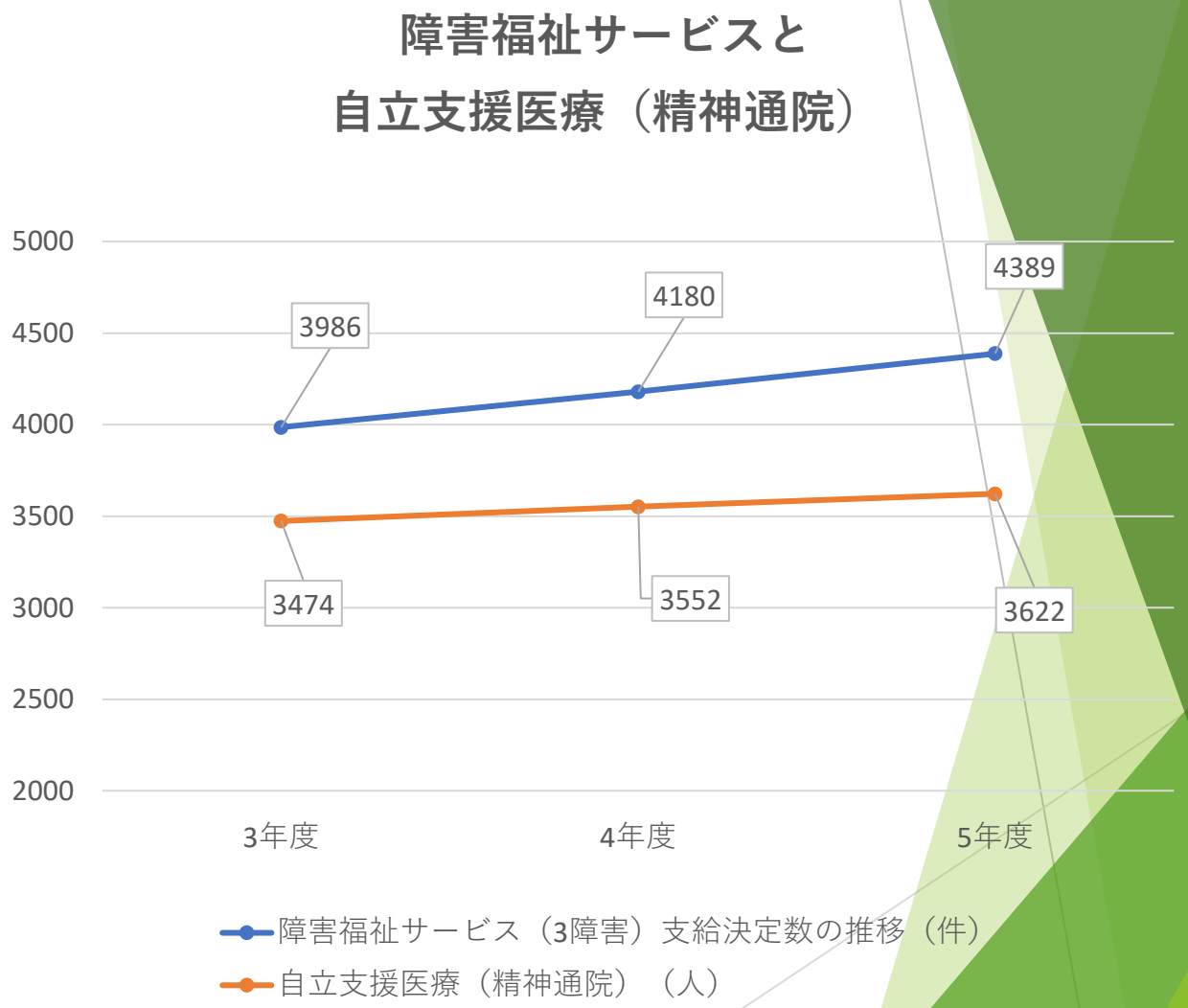
左京区における健康課題（障害保健福祉）

- 日本で初めて精神科医療が発祥したとされる病院や、歴史的に精神科療養の地となった地域（洛北）があり、古くから精神科医療が発展していた。
  区内に精神科の通院や入院できる病院は6箇所と市内で一番多く、また日中の活動を支援する医療・福祉関係事業所も多く、心の病のある人に関係する社会資源が豊かである。
- 自立支援医療（精神通院）利用者、精神障害者保健福祉手帳所持者は増加傾向（グラフ参照）で、精神保健福祉手帳の等級の１級所持者の割合が全区役所・支所中1位である。
- 障害福祉サービスの利用者は増加しており（グラフ参照）、豊かな支援環境の中で、必要な制度やサービスにつながる個別支援のための連携に取り組めていると思われる。

■ 北部障害者地域生活自立支援協議会や左京こころのふれあいネットワーク活動など、保健協議会連合会・民生児童委員会等の地域役員や関係機関との連携に重きを置き、イベント・研修会の開催等において、普及啓発や顔の見える関係づくりを目指し、切れ目のない支援につなげていく。

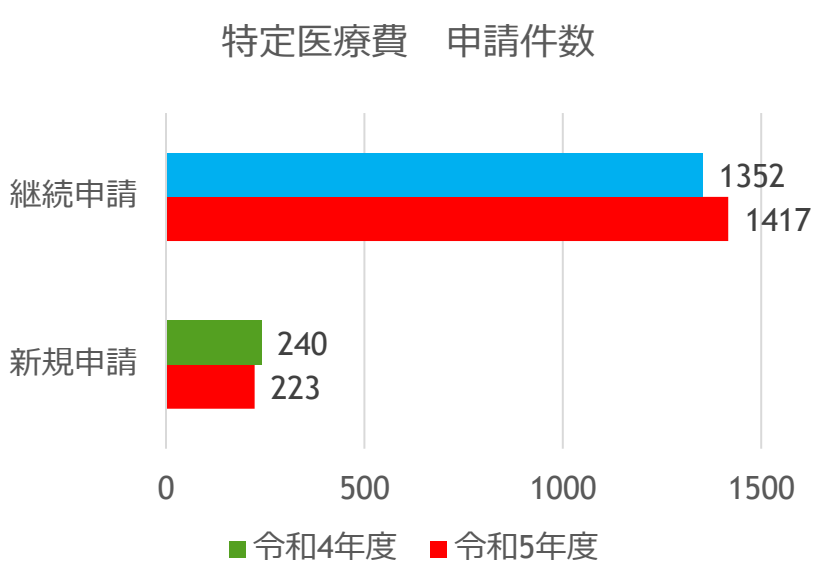
グラフ（精神保健福祉関連）

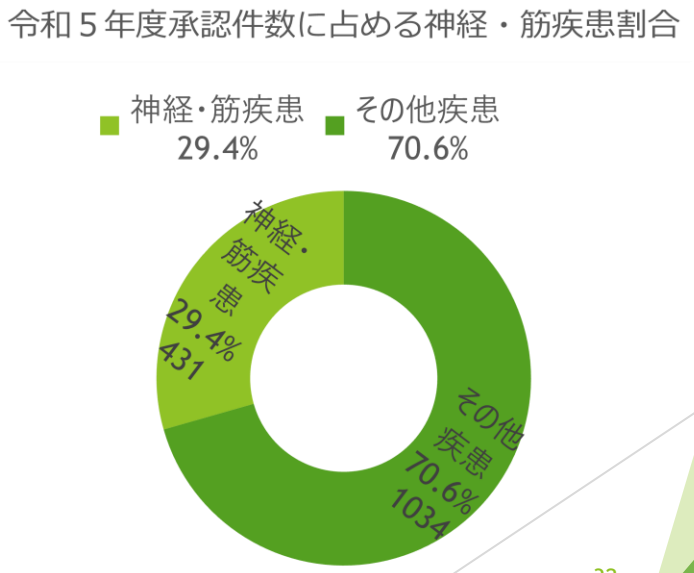




難病患者支援

- 指定難病で認定基準を満たす場合、特定医療費支給認定制度を利用することができる。指定難病は希少で難治性進行性であり、本人家族の不安や負担が大きいものが多い。そこで、新規申請時に神経・筋疾患（パーキンソン病、脊髄小脳変性症、ＡＬＳなど）の場合には保健師が面接し今後のフォローを行っている。





取組事業

左京こころのふれあいネットワーク

- 「こころの病がある人も、そうでない人も、住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らしたい」そのような思いを理念として、医療機関や福祉サービス事業所、ボランティアグループ、家族会、行政、教育、公的機関など幅広い団体により構成されたネットワークです。セミナー、ビジュアルマップ、心ときめき芸術祭、卓球大会等に取り組んでいます。
- 令和4年度の「第28回心ときめき芸術祭」から、区役所から飛び出して、洛北阪急スクエアで開催。令和6年度も引き続き、洛北阪急スクエアで開催予定です。

子どもはぐくみ室の業務

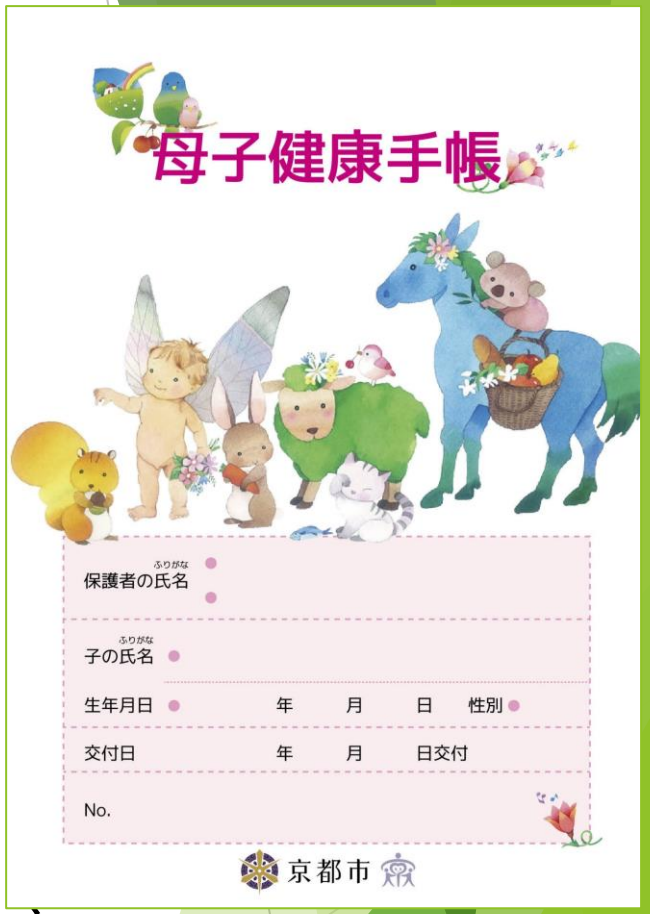
母子保健

- 母子健康手帳の交付
- こんにちはプレママ事業

  初妊婦や、双胎など継続した支援が必要な妊婦に対する家庭訪問
- 新生児等訪問指導（こんにちは赤ちゃん事業）
- 乳幼児健康診査

  （４か月児、８か月児、１歳６か月児、３歳７か月児）
- 子育てに関する相談対応（家庭訪問・面接・電話）
- 親子の健康づくり講座

  プレママ・パパ教室、ダウン症児の親の会（ハイハイ☆）、児童館や子育てサロンなど地域への出張型講座
- 親子すこやか教室（集団活動を通した学びや体験の場の提供）
- スマイルママ・ホッと事業（産後ケア事業）、子育て支援短期利用事業などの育児支援施策の調整



etc…

子どもはぐくみ室の主な取組
年齢別の主な制度早見表

子どもはぐくみ室では、子どもと子育てに関する相談等に対応するため、主に以下のような業務を取り扱っています。詳細については、お住まいの地域の子どもはぐくみ室まで、お気軽にお問い合わせください。

窓口　子育て相談担当　子育て推進担当

※ 令和６年４月１日現在

	妊娠前	妊娠中	誕生	４か月頃	８か月頃	１歳	１歳６か月頃	３歳頃	５～６歳	小学校	中学校	１５～１８歳　高校	～20歳※
健診・予防接種・届出		妊娠届・母子健康手帳交付		４か月児健診	８か月児健診		１歳６か月児健診	３歳児健診					
			定期予防接種										
		妊産婦健康診査・新生児聴覚検査・１か月児健診（受診券の交付）											
							フッ化物歯面塗布（２～３歳）						
手当・助成			児童手当										
		出産応援ギフト（妊婦相談事業の面談後に支給）	子育て応援ギフト（こんにちは赤ちゃん事業の面談後に支給）										
												高校進学・修学支援金支給事業	
	不妊・不育症治療費の助成												
		入院助産制度											
			子ども医療費支給制度										
			ひとり親家庭等医療費支給制度										
			未熟児養育医療給付＜１歳の誕生日の前々日まで＞										
			自立支援医療（育成医療）										
			小児慢性特定疾病医療費助成※										
子育て支援		妊婦相談											
			乳幼児歯科相談										
	不妊・不育等相談												
				離乳食講習会									
							親子すこやか教室						
		親子の健康づくり講座（プレママ・パパ教室、親子で楽しむ健康教室）											
		こんにちはプレママ事業											
			こんにちは赤ちゃん事業（新生児等訪問指導）										
			スマイルママ・ホッと事業（産後ケア事業）										
			第三子以降等産前産後ヘルパー派遣事業										
				京都版ブックスタート事業									
		育児支援ヘルパー派遣事業											
		家庭訪問・電話相談等											
子どもを預ける			ショートステイ										
										トワイライトステイ			
子どもの教育・保育							幼稚園に関する情報提供（２歳児接続保育、３歳児からの幼児教育及び預かり保育）						
				保育園（所）等利用に関する手続き									
ひとり親家庭や寡婦等への支援			児童扶養手当※										
			ひとり親家庭等医療費支給制度（再掲）										
				自立支援給付等の各種就業支援事業（20歳未満が対象）									
						ひとり親家庭等日常生活支援事業（中学生以上の児童への支援については要相談）							
											中学生等への学習支援		
				母子父子寡婦福祉資金貸付事業									
母子の保護及び生活支援			母子生活支援施設への入所※										

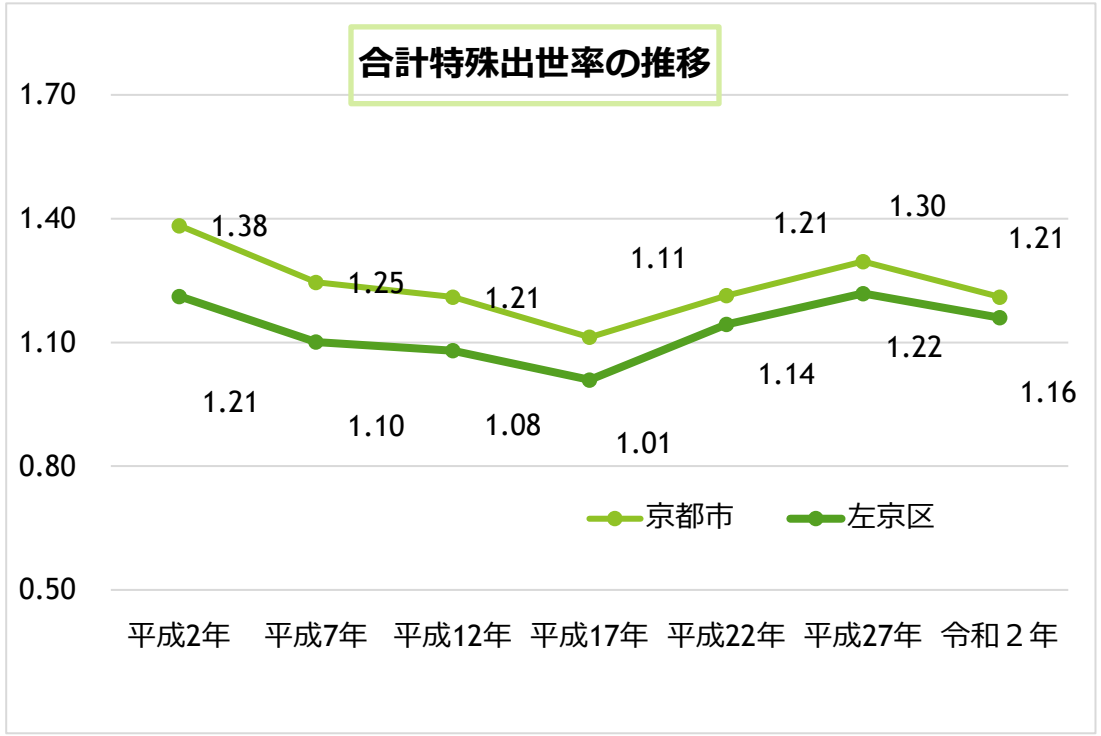
抱えている課題や困難に対応した
個別具体的な支援

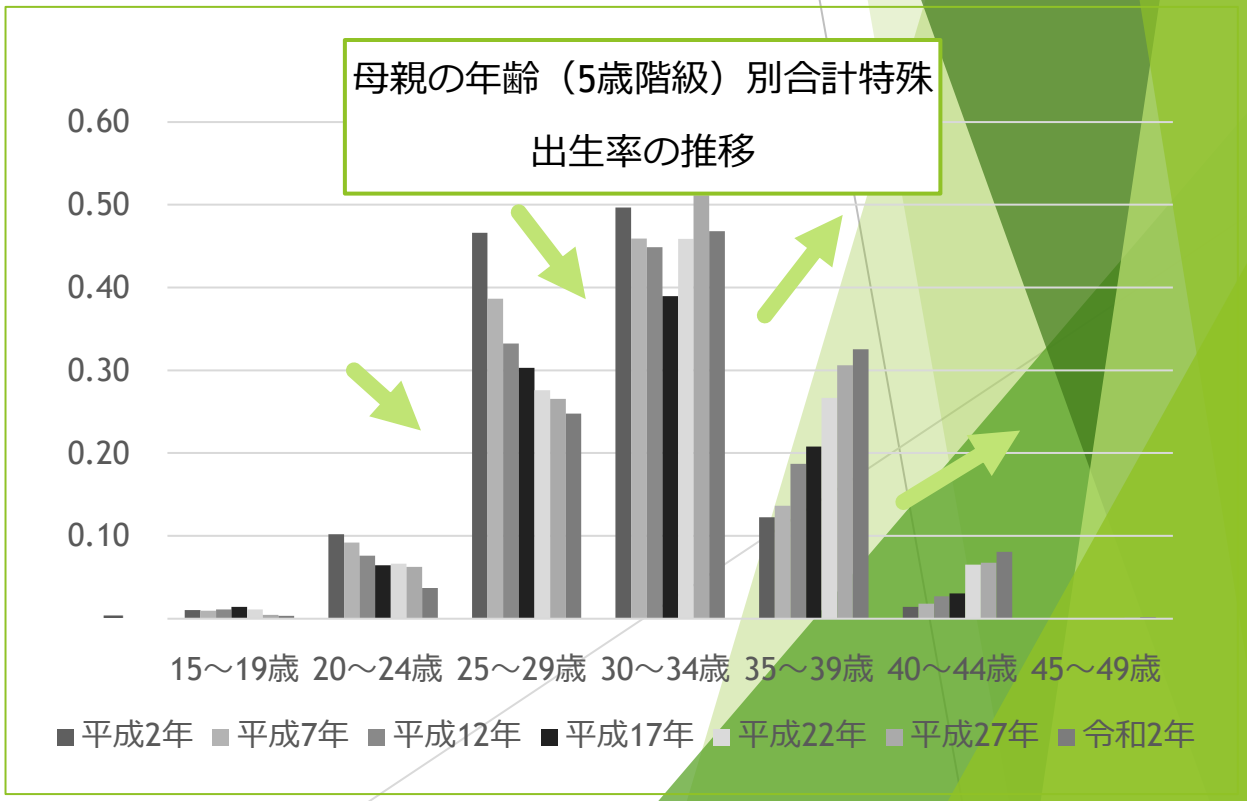
母子健康手帳交付を始点として、
こんにちは赤ちゃん事業、乳幼児健診
などを通した全ての家庭への支援

情報発信、地域の関係機関との
顔の見える関係づくり　など

左京区における健康課題（母子保健）

- 合計特殊出生率は横ばい（令和4年1.11）。40代は微増傾向にある。
- 他区と比較して…出産年齢が若干上がってきている。外国籍の方の妊娠・出産・育児が多い。
（母子健康手帳交付数のうち外国語版の割合は、（京都市）2.6% （左京区）5.9%。）





取組事業

○ ようこそお母さん・お父さん～左京の子育て応援します～

〈取組内容〉

・各学区民生児童委員協議会と連携し、気軽に育児等の相談ができる体制を構築するとともに、子育てに役立つ情報を家庭訪問で提供。区内全ての学区で実施している。
訪問希望申請数：２３９件（令和５年度）

・事業に係る補助金を申請された学区の民生児童委員協議会に交付
補助金の交付実績：２０学区（全２６学区中）

〈取組の効果〉

・民生児童委員が保護者と対面し、育児に関する悩みなどを聞くことで、保護者と民生児童委員の間の相談体制を確保してきた。家庭訪問を行うため、外出しにくい子育て家庭にとっても相談する契機となったと思われる。

・各学区民生児童委員協議会などで運営される子育てサロンは、子育て家庭同士の交流の場ともなっている。民生児童委員協議会の取組が、子育て家庭の孤立防止に繋がっている。

「ようこそお母さん・お父さん～左京の子育て応援します～」
ご案内

主催：左京区民生児童委員会

お近くの民生児童委員・主任児童委員が左京区内の子育て支援情報をお届けします。

子育て支援情報を希望される方は･･･

① 二次元コードからお申込み、またはハガキに必要事項を記入して、ポストへ投函してください。

② お近くの民生児童委員・主任児童委員から直接電話が入ります。

③ 左京はぐくみだより、児童館だよりや子育てサロンのちらしなどをお届けします。

※ 収集した個人情報は本事業に必要な範囲内で適正に取り扱います。また本事業の目的以外に利用することはありません。

民生児童委員・主任児童委員は、こんな活動をしています。

1 地域の子どもが元気に安心して暮らせるよう見守り、お母さんやお父さんたちが抱える子育ての不安や心配ごとなどの相談や支援を行っています。
2 地域の福祉制度や子育て支援の情報をご紹介します。
3 必要に応じて関係機関との「つなぎ役」になります。
4 子育てを応援するために、子育てサロンや子育て支援事業のお手伝いをしています。

※ 民生児童委員・主任児童委員は厚生労働大臣から委嘱された特別職の地方公務員です。個人の人格を尊重し、秘密を守ることが法律で義務付けられていますので、子育て等で不安なことや心配なことなど、安心してご相談下さい。

お問合せ先 〒606－8511 左京区松ケ崎堂ノ上町７番地の２
左京区役所保健福祉センター子どもはぐくみ室子育て相談担当
（TEL：075－702－1222 FAX：075－791－9619）

取組事業

左京子育て応援
ミュージックフェスタ
Sakyo Childcare Support Music Festival

〈取組内容〉

妊婦（配偶者を含む）、０歳児及びその保護者が、楽器の生演奏を鑑賞しながら、穏やかな雰囲気の中で専門職等に子育て相談をできる機会として開催。

併せて、民生児童委員や児童館の活動紹介 及び 地域の子育て支援情報の提供を行うことにより、参加者が子育て支援者や支援機関につながる契機とした。

〈実績〉

参加者：３７組（保護者４８名、こども４０名）

相談コーナー利用者：助産師・保健師４組、保育士５組、管理栄養士８組、歯科衛生士７組、
保育所等情報紹介１０組

計測コーナー利用者：乳児２９名、幼児１名

〈取組の効果〉

・妊婦や０歳児の子育て家庭が音楽の生演奏を聴く機会となり、好評であった。
・参加者３７組中延べ３４組の方が相談コーナーを利用されており、子育て相談を気軽に行える機会になったと思われる。
・地域の民生児童委員や児童館の活動、地域の子育て支援情報を知っていただく機会となったため、これをきっかけに、参加者が子育てサロンや児童館の利用につながることも期待できる。
・全体的に和やかな雰囲気であり、参加者同士で交流する姿も見られた。